

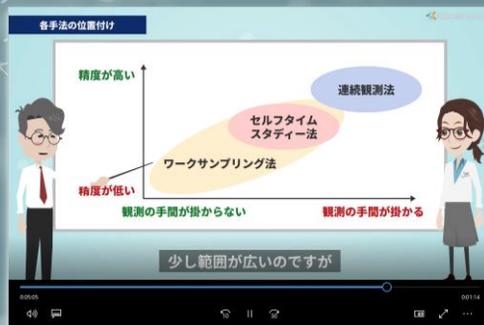
カイゼンベース学習コース紹介

アニメで学ぶ“IE実践編～稼働分析 Part2～”

本学習コースの狙い

ワークサンプリングは、現場改善を専門に行うコンサルタントにも必須のツールとして活用されています。観測するタイミングを一定のルールに沿って決め、観測した瞬間の稼働状況をサンプリングにより把握するこの手法。本コースでは、稼働分析の要となるワークサンプリング法の概要と具体的な活用法について学習します。

受講対象者：全部門（管理職）



eラーニング学習画面イメージ



カリキュラム

動画再生時間：約29分
 想定学習時間：約1時間26分
 教材の構成：動画コンテンツ5ヶ，理解度確認テスト 各章3問，総合テスト 全20問

① ワークサンプリング法とは

ワークサンプリング法

観測するタイミングを一定のルールに沿って決め、観測した瞬間の稼働状況をサンプリングにより把握する方法

正確性は数字落ちるものの比較的手段を採げずに実用可能

観測対象を限定しにくいと、そんなに観測回数が増えない...

稼働を効果的に観測できるワークサンプリング法が有効

作業の発生頻度や

6:19

② ワークサンプリング“事前準備フェーズ”

ワークサンプリング “事前準備フェーズ”

観測時刻を決める

ランダム・サンプリング法

且数値などを用いてランダムに観測時刻を決める方法

観測に行くと盛りが出る場合

観測時刻によって、観測時刻が決められる方法

30分毎などに観測時刻を決める方法

観測時刻が決められない場合

データに偏りが出してしまう

7:05

③ ワークサンプリング“実施・分析フェーズ”

観測結果の分析

次のレッスンで目標を確認!

観測結果の分析表

4:45

それぞれの作業がどのくらい発生していたのか

④ 観測結果と改善の方向性

種別の稼働分析の場合

目指したい姿

- 稼働が良品を100%の性能で造っている状態が増える
- 稼働稼働時間が増えている状態

この状態をいかに増やしていくかを考える!

稼働時間

5:02

考え続けることが求められます

⑤ 稼働を改善する視点

人の稼働を改善する視点

ムダ時間 15%削減!

付加作業時間 2%削減!

稼働稼働時間

5:37

という指標などを使い

※ 理解度確認テストは各章毎に設定されており、最後の総合テストでは全動画の中からランダムに出題されます。



カイゼンベース株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目3-1
 TEL：03-6368-5620 FAX：03-4586-7148
 お問い合わせ：info@kaizen-base.com

お申し込みはWEBサイトから！
<https://kaizen-base.com/e-learning/>

